

第 25 回名古屋ビジネスセミナーを開催

● 大学院経済学研究科

大学院経済学研究科附属国際経済政策研究センターは 2017 年 6 月 23 日（金）日本経済新聞社名古屋支社にて第 25 回名古屋ビジネスセミナーを開催しました。



参加者 100 名超の会場にて講演中の寺澤教授

同セミナーは名古屋大学経済学部同窓会のキタン会と共同で開催しており、今回は寺澤朝子中部大学教授を講師としてお迎えしました。

第 25 回は「なぜ、企業不祥事は繰り返されるのか—組織行動論・変革論の見地から—」をテーマとし、事前申込者・参加者ともに 100 名を超えました。

寺澤教授は企業不祥事の原因として①組織の硬直化、②日本特有の条件の 2 点を挙げた上で、硬直化を打破した例として大企業と中小企業の事例を紹介されました。事例研究を通して「組織の治療と処方箋」として、短期的には、実質的なチェック機能を果たす社外取締役の活用、長期的には、プロフェッショナル化による組織に優る強い個人への転換を提案されました。また、公式権限のない組織メンバーも組織を変えることは可能とし、ボトムアップ・アプローチの有効性について論述されました。

アンケートでは「印象深い事例であった」、「紹介された処方箋を是非実践したい」、「リアルで、現在進行形の学問」、「組織改革に取り組む際の気付き、考え方のヒントになった」といったご意見が寄せられました。質疑応答時にも、活発な意見交換が行われました。